



CRANE NUCLEAR

"VALVE AND SERVICE SOLUTIONS FOR THE INDUSTRY"

VDS-Series 診断システム逆止弁 テスト

VDS-Series 診断システムは最先端技術を駆使し、運転を止めずに診断 (非侵害診断) することにより発電所用の逆止弁 (CV) 試験プロセスの合理化を提供いたします。このシステムは4本の固定チャンネルの他、16本のユーザ定義可能なデータ・チャンネルから成り立ち、テストされるバルブのタイプやサイズ、パラメータがカスタマイズ可能なモジュール設計を特色とします。

VDS-Series 診断システムは、どのメーカーの逆止弁 (CV) でもテストが可能であり、逆止弁テストに必要な全てのハードウェアおよびソフトウェアを含んでおります。装置およびソフトウェア・プログラムは10CFR50、アペンディックスB品質保証プログラムの下で開発されており、またすべてのソフトウェア・プログラムはIEEE730.1に従って作成されております。このようなソフトウェアの開発は過去の記録の追跡を可能にし、データの保全を促進します。

**高度な非侵害診断技術は
確実な作業を約束し
傾向予測メンテナンスを提供します**



- 運転を止めることなく診断が可能
- 最新技術による診断プロセスの単純化
- プラント内で持ち運び可能なポータブル設計
- 単体および複合システムの双方で使用可能
- コンパクト化に伴う実用性と低価格設定
- テストプロセスの簡略による作業時間の短縮
- 運転費用、人件費の削減

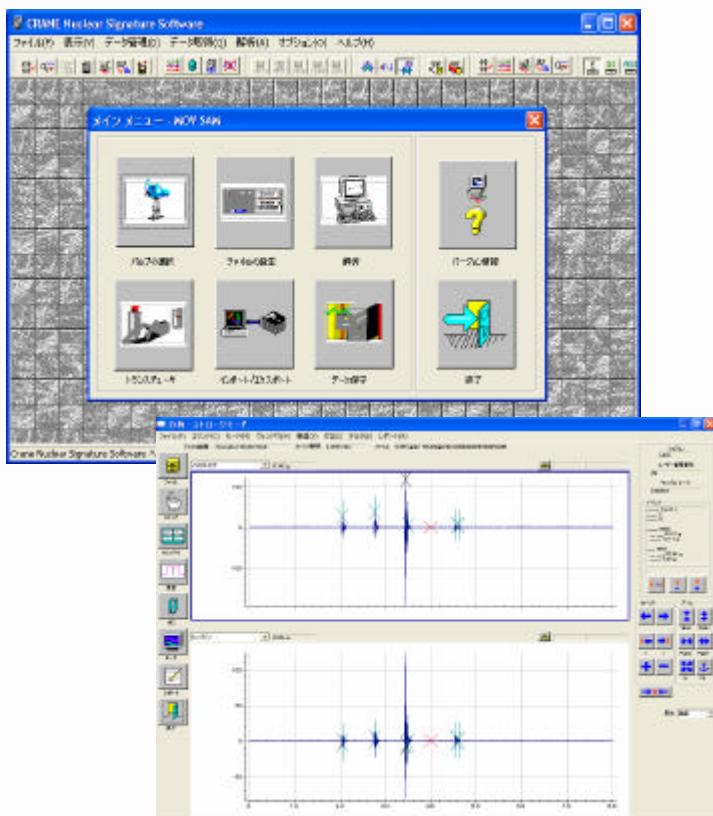
逆止弁テスト用 VDS-Series 診断システムの特徴

逆止弁プラットフォームは、下記の項目をチェックするのに必要なハードウェアおよびソフトウェアを含んでいます：

| | |
|----------|------------|
| ディスクの位置 | ディスクのスタック |
| ディスクの安定性 | ヒンジピンの磨耗 |
| ディスクの紛失 | 弁内部のディスク衝突 |
| パーツの緩み | 衝突の位置 |
| ディスクの弾み | 漏れ |

VDS-Series 診断システムは2通りのテクノロジーを用いることで逆止弁の機能を確実に把握することができます。

- “リッスン”テクノロジー
一対のチャージ・タイプ加速度計によるアコースティック・エミッション(AE)のモニタリング
- “リロック”テクノロジー
渦電流：逆止め弁の安定性を測定
超音波：正確かつ迅速にバルブのポジションを数量化



エンドユーザー ベネフィット

- 異常値部分に目印を付けます
- センサーを校正します
- 報告書をカスタマイズします
- データを外部のデータベースへエクスポートします
- テスト条件の記録をします
- バルブの性能を分析します

お問い合わせ先

CRANE Nuclear, Inc.
電話：045-534-1482
FAX：045-534-1483
nihongo@cranevs.com
www.cranenuclear.com